

また、滅多にない奇遇にはなはだ驚く経験をした。

6月8日に、東京大学で開催された国際歯科医療安全機構主催の研修会と総会が終わって、私はJR上野駅方面に勘に頼って歩いてきた。

しかし、交差点でふと道順が不安になり、早く帰宅したかった思おもあつてか信号待ちをしていた中年の婦人に、「勇気を出して“上野駅への道を尋ねた。その婦人は、地下鉄

日比谷線の上野駅から乗車して帰宅する、と道すがら話しをされたので、私もそれに呼応して北陸新幹線で長野まで帰る事を話した。

さらに私が小布施在住であることを告げたところ、その方は最近まで小布施町の隣り町に居住されて、私の診療所を受診されたことのある元患者さんであることが判明した。何という奇遇だろうか！
もう一回の極めて希有な出来事は、かれこ

れ20年位も前にマレーシアで遭遇した。

それは、国立マレーシア先住民病院で3年間の歯科医療協力活動

間違い電話の向こうに

「吉」との遭遇

北村 豊

を経験した私は、当時その病院の同僚であった元カンボジア難民の内科医が、マレー半島東海岸の病院に転勤し

たことをマレーシアを再訪した時に親友より聞き、教えてもらった

元同僚の固定電話番号に電話をしたのであつ

とても落胆してしまつた。

ところがである!!その見知らぬはずの女性

は前言に続いて私の名前を声高に連呼したのである。なぜならその電話を受けた女性は、私がマレーシアに赴任して最初の1ヶ月間を

住み込みでマレー語を教えていただいた家のなんと娘さんだったのである。

その後、何年も経過後、元カンボジア難民の友人の医者が、だいぶん政情が安定した母

国を訪問した際に殺されたというとても悲しいニュースが友人より届いた。

私は、こんな奇遇や偶然を数多く経験している。統計的にも明らかに有意差をもって高い頻度で経験をしていると推測されるが、まだ70年の人生において宝くじには一度も当選したことが無い。なぜなら買ったことがないから……

（上高井郡小布施町信州口腔外科インプラントセンター所長）